

研究課題名：AI 等の利活用を見据えた病理組織デジタル画像 (P-WSI) の収集基盤整備と病理支援システム開発 (多施設共同研究)

本研究は日本病理学会が主導で行う多施設共同研究になります。

本研究では過去に当院にて病理診断を受けた患者様の画像等データを用います。

具体的には、1) 病理診断情報 (病理診断, 採取臓器, 採取法, 所見)、2) 病理デジタル画像 (whole slide image : WSI)、3) 臨床情報 (性別、年齢、臨床疾患名、臨床経過)、を対象とし、いわゆる要配慮個人情報扱います。したがって研究にあたっては「匿名加工情報化 (改正個人情報保護法)」を行います。さらに各施設のゲートウェイ収集端末から集められた病理デジタル画像、匿名化された診療情報は、ゲートウェイ制御サーバにすべて収納し、サーバ内で秘密分散化の手法により、提出施設などが検出不可能な「バラバラの状態 (ジグソーパズルのピース)」にして保管いたします。加えて学会や論文で結果を発表する際には、個人の特定が直ちに可能な情報は全て削除します。

対象患者様：当院にて病理診断が行われた症例のうち、病理デジタル画像の蓄積のあった
1200 症例

研究実施期間：倫理審査了承後～平成 30 年 3 月

倫理審査について：倫理審査委員会の審査をうけ、研究機関長の許可を受けている

研究代表者：日本病理学会 (代表：深山正久理事長) <http://pathology.or.jp/>

本研究に関して、データの利用に同意されない場合には、ご本人、ご家族及び後見人の方からのご連絡により、どの時点でも研究対象外といたします。

なお、本研究は過去の診療記録を用いて行うため、該当する患者の現在・未来の診療内容には全く影響を与えず、また不利益を受けることもありません。これらの告知は HP で公開しており、研究から除外になった場合でも、将来にわたって患者が診療上の不利益を被ることはありません。

データ利用の目的と趣旨をご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

昭和伊南総合病院 研究担当者：外科 森川明男

研究連絡先：

本事業地域実証実験部門担当 吉澤明彦 (京都大学医学部附属病院 病理診断科)

TEL 075-751-3488

E-mail akyoshi@kuhp.kyoto-u.ac.jp